

# 山口県下松市が3か国語に対応した指さしトークシートを作成

令和3年3月、山口県下松市は、英語・中国語（繁体字）、ベトナム語の3か国語に対応した、指さしトークシート（タッチ式トークシート）を作成しました。

これは、下松市が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるベトナムのホストタウン（女子バドミントンキャンプ地）であることや、留学生も多く生活していることから、作成されたものです。また、新型コロナウイルス感染症終息後、増加が見込まれる外国人観光客への対応時にも役立てられると期待されます。

トークシートは、A3サイズ2ページ分で、「～を書いてください」などのお願いする言葉、宿泊・飲食・土産店での基本フレーズなど外国人への対応時によく使われるフレーズや単語が日本語と各国語で表記され、表現したい文章を指で示して使えるようになっています。また、災害時やケガをしたときのフレーズとして「地震が起きました」「どこが痛みますか?」「津波がきます」など、緊急時に使う言葉も記載されています。

また、このトークシートは多くの人に利用してもらうよう紙媒体の配布ではなく、下松市のホームページからダウンロードする形で提供されています。

今後について下松市の担当者は、「このトークシートを、在住外国人をはじめ多くの方に活用していただきたい。市民だけでなく多くの観光事業者にも活用していただくことを想定しており、言葉や文化、宗教の違いを超えて外国人観光客の方々に下松市の魅力を伝えるとともに、ホストタウン事業にも活用していきたい。」と話しています。



※トークシートは、下記からダウンロードして利用できます。

URL : <https://www.city.kudamatsu.lg.jp/event/2021/0401.html>

## 問い合わせ先

問合せ先：下松市役所地域交流課スポーツ観光交流係

電話：0833-45-1841